クラス

ゲームプログラミングA#02 向井智彦

先週のおさらい

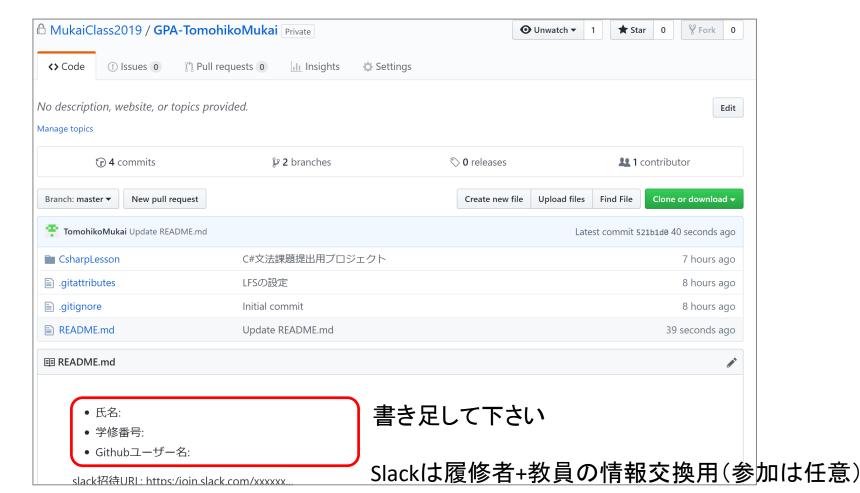
- Unity & C# 導入
 - Roll-a-Ball
 - 演算、入出力、変数、条件分岐
- やらなかったこと
 - Debugクラス、MonoBehaviourクラス
 - public
 - Startメソッド、Updateメソッド

今週の目標

- C#プログラミング(配列、反復、メソッド)
- ・クラスの概要の理解
- Unity C#クラスの利用

事前準備: 履修者情報の追記

MukaiClass2019/GPA-OO



事前準備: 演習用プロジェクトの取得

MukaiClass2019 / GPA-OO / CsharpLesson

ゲームプログラミング演習・実習A (2019)

- 木2-3@2-501
- 首都大学東京システムデザイン学部インダストリアルアートコース 2019年度春期
- 担当教員: 向井智彦(email: mukai@tmu.ac.jp, 日野1号館2階247室)
- 講義全体に関する質問は 講義ページのIssueへ記載して下さい. 個別課題に関する質問はそれぞれのIssueへ記載して下さい.

アナウンス

• [2019/04/11] Unityの授業標準バージョンは、演習室環境に合わせて「2018.3.12f1」とします。

スケジュール

第1回目:ガイダンス

- 1. スライド
- 2. Unityのインストール(macos)
- 3. GitHub Desktopのインストール(macos)

第2回: クラス

- 1. スフイド
- 2. 課題レポジトリのクローン

プログラミング基礎(C/C++言語)履修者向け

C#プログラミング「反復」

「n回だけ繰り返す」をfor文で

```
using UnityEngine;
public class TestScript : MonoBehaviour {
 void Start()
    for (int x = 0; x < 10; ++x)
       Debug.Log(x);
```

for文は反時計回りに読み書き

```
using UnityEngine;
public class TestScript : MonoBehaviour {
  void Start()
          \intint \overline{x}
        Debug.Log(x);
```

```
using UnityEngine;
public class TestScript : MonoBehaviour {
 void Str
        0初期設定
    for (int x = 0; x < 10; ++x)
      Debug.Log(x);
```

```
using UnityEngine;
public class TestScript : MonoBehaviour {
 void Start()
    for (int x = 0; x < 10; ++x)
      Debug.Log(x);
      ① 反復対象処理の実行
```

```
using UnityEngine;
public class TestScript : MonoBehaviour {
 void Start()
   for (int x = 0; x < 10; ++x)
                             ②次の反復に
      Debug.Log(x);
                             移る際に
                             実行される式
```

```
using UnityEngine;
public class TestScript : MonoBehaviour {
 void Start()
                   ③ 反復の継続判定
    for (int x = 0; x < 10; ++x)
      Debug.Log(x);
```

```
using UnityEngine;
public class TestScript : MonoBehaviour {
 void Start()
   for (int x = 0; x < 10; ++x)
      Debug.Log(x);
      ①反復対象処理の実行 に戻る
```

「N回繰り返す」をwhile文で

```
using UnityEngine;
public class TestScript : MonoBehaviour {
 void Start()
   while (x < 10)
     Debug.Log(x);
     ++x; //カウントを1つずつ増やす
```

条件式の更新

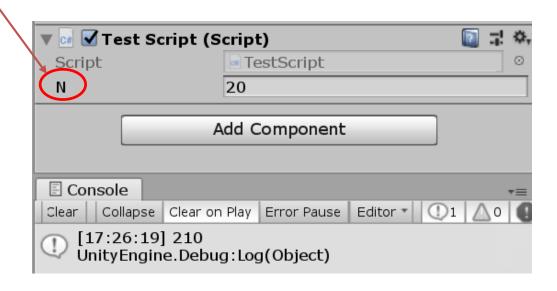
```
void Start()
                      void Start()
  int x = 0;
  while (x < 10)
    Debug.Log(x);
  } //無限ループ!!!
   ポイント:
```

int x = 0; while (x < 10)Debug.Log(x); ++x; //カウントアップ

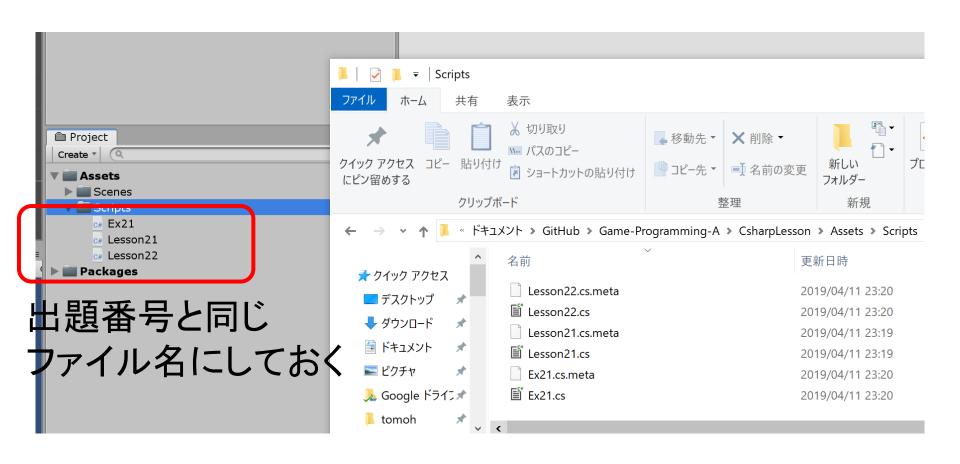
条件式に登場する変数を、反復のたびに更新

Lesson21

- 1~nの正の整数の合計値を計算する C#スクリプトを作成
 - nは指定された正の整数



LessonおよびExの提出方法



プログラミング基礎(C/C++言語)履修者向け

C#プログラミング「メソッド」

三角関数の例

```
using UnityEngine;
public class TestScript : MonoBehaviour {
  void Start()
     Debug.Log(Mathf.Sin(0.52359877f));
     Debug.Log(Mathf.Cos(0.52359877f));
```

文法図解

```
using UnityEngine;
public class TestScript : MonoBehaviour {
  void Start()
                         メソッド名
      Debug.Log(Mathf.Sin(0.52359877f));
Debug.Log(Mathf.Cos(0.52359877f));
                         クラス名
```

文法図解

```
using UnityEngine;
public class TestScript : MonoBehaviour {
  void Start()
            メソッド名
                                  引数
      Debug Log(Mathf.Sin(0.52359877f));
Debug Log(Mathf.Cos(0.52359877f));
          クラス名
```

メソッド(関数)とは?

- 別のメソッドから引数を添えて呼ばれ、
- 何かしらの処理を実行し、
- 呼び出し元に何らかの値を戻す、
- 処理のひとまとまり

```
メソッドの基本形
float Sin(float) { return sin_value; }
↓
戻り値の型名 メソッド名(パラメータ) { 処理; }
```

メソッドの動作イメージ

- 1. Debug.Log(Mathf.Sin(0.52359877f)); 最も内側の小括弧内を最優先に処理
- 2.「Mathf.Sin(0.52359877f)」の計算
 - → 戻り値0.5が得られる
 - = メソッド呼び出しが数値0.5で置き換わる
- 3. Debug. Log(0.5)
 - → console に「0.5」が表示される

Lesson22

- 「Debug.Log」メソッドの代わりに
 「Debug.Warning」メソッドおよび「Debug.Error」
 メソッドを用い、その挙動の違いを調査
 - 使い方は同じ
 - 出力するメッセージは何でもOK
 - 困ったときの"Hello World"

プログラミング基礎(C/C++言語)履修者向け

C#プログラミング「配列」

C#の配列はC++の配列と何か違う

https://docs.microsoft.com/ja-jp/dotnet/csharp/programming-guide/types/

C#

- 宣言(初期值指定)
 - $int[] a = {0, 1, 2};$
- 宣言(初期値なし)
 - int[] a = **new** int[3]; 説明は後ほど
- ・アクセス
 - -a[0] = -1;
 - int x = a[2];

C++

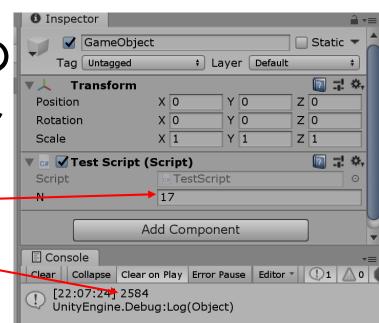
- 宣言(初期值指定)
 - $int a[3] = {0, 1, 2};$
- 空の配列(初期値なし)
 - int a[3];
- ・アクセス
 - -a[0] = -1;
 - int x = a[2];

配列と反復: 合計値

```
using UnityEngine;
public class TestScript : MonoBehaviour {
  public int[] array = new int[5];
  void Start() {
    int sum = 0;
    for (int i = 0; i < 5; ++i) {
      sum += array[i];
    Debug.Log(sum);
```

Lesson23

- n番目の要素が(n 1)番目と(n 2)番目の要素の和(ただし0番目と1番目の要素は1)となるような、20個の要素を持つ配列を作成
 - つまりフィボナッチ数列
- 指定された添字(19以下)の 要素を出力するC#スクリプト
 - -a[0] = 0
 - -a[17] = 2548;



クラス

データ型

https://docs.microsoft.com/ja-jp/dotnet/csharp/language-reference/keywords/types

• 整数型 int

• 浮動小数点型 float, double

• ブール型 bool

– その他 short, long, byte, uint, など

• 文字列型 string

ユーザー定義型クラス

クラス: 複数のメンバー(フィールドや メソッド)をまとめた型

- 1. int a;
- 2. float b;
- 3. double c;
- 4. char d;

- 1. class data
- 2. {
- 3. int a;
- 4. float b;
- 5. double c;
- 6. char d;
- **7**. }
 - ※文法は後ほど説明

関連する複数フィールドの組合せ例

- 数学
 - 2次元座標, 3次元座標, 複素数, ベクトル
- 個人データ
 - 氏名, 年齢, 生年月日, 住所, マイナンバー...
- 家族構成
 - 父, 母, 子, 孫...
- 地理データ
 - 都市名,人口,面積,標高

Quick exercise 1

- ・日野キャンパスを表す「数字」を複数挙げて 下さい
 - 例)学生数

Quick exercise 2

 先ほど挙げた「日野キャンパスを表す『数字』」 から5つほど選択し、それらをC言語の変数で 表すために、

> それぞれに適した型と わかりやすい変数名を考えて下さい.

Quick exercise 3

作成した5つの変数を、空欄に記入して下さい。

```
class Campus7Number
{
```

本日用いるクラスその1: Vector2

https://docs.unity3d.com/ja/current/ScriptReference/Vector2.html

- ・ 2次元ベクトルクラス
 - 2Dゲーム開発時に多用
 - 2次元位置、2次元方向、2次元移動量 etc...
 - 基本的な数学演算を提供
 - 四則演算、比較演算、ベクトル長、内積 etc...
- 2つの要素 [x, y] はいずれも float 型
 - 代入する浮動小数値の最後には" f "を付加
 - 20.0f、-157.7f など

X座標とY座標へのアクセス

- 1. Vector2 a = new Vector2()
 // Vector2クラスインスタンス a
- 2. a•x = 10.0f; // a + ピリオド + フィールド名 x
- 3. a•y = 20.0; // a + ピリオド +フィールド名 y // ※右辺がdouble型なのでエラー
- 4. Debug.Log(a);

同じ働きをするプログラム

```
float ax;
                            Vector2 a = new Vector2();
float ay;
                            a.x = 10.0f;
ax = 10.0f;
                            a.y = 20.0f;
                             Vector2 b =
ay = 20.0f;
                              new Vector2(5.0f, -6.0f);
float bx = 5.0f;
float by = -6.0f;
                             Vector2 c = a + b;
float cx = ax + bx;
                            Debug.Log(c);
float cy = ay + by;
Debug.Log(cx+" "+cy);
                            スッキリまとまって読みやすい(ようになる)
```

クラスインスタンスの生成

変数として利用できる状態になったクラスの実体

基本型インスタンス

- int a;
- float b;
- char c;

配列型インスタンス

- int[] a = new int[10];
- float[] b = new float[10];
- char[] c = new char[10];

ユーザークラスインスタンス

- Player player = new Player();
- Enemy enemy = new Enemy();
- Bomb; bomb = new Bomb();
- Campus7Number hino =

new Campus7Number();

newによるクラスインスタンス生成

- int、int[]、float、double[]、bool、stringなどは C#にあらかじめ用意されている特別なクラス
- Vector2クラスやDebugクラスはUnityのクラス

クラスはC#プログラムの基本要素

https://docs.microsoft.com/ja-jp/dotnet/csharp/tour-of-csharp/classes-and-objects

- あらゆる型はクラス
 - int 型=クラス名「int」
 - int型の変数「int a;」で、「a.」とタイプすると…?
 - 授業外: System.Int32クラスの別名
 - int 型の配列 = 「int[] 」という名称のクラス
 - 授業外: System.Int32[]クラスの別名
- ・ 機能や意味単位にクラスを分け、組合わせる
 - Unity: Vector2, Debug, AudioSource, Rigidbody...

本日用いるクラスその2: Mathf

https://docs.unity3d.com/ja/current/ScriptReference/Mathf.html

- 数学クラス
 - 指数、対数、三角関数などのメソッドを提供
 - Mathf.Exp、Mathf.Log、Mathf.Sin、Mathf.Acos...
 - 一般的な定数(円周率π、無限∞など)も提供
 - Mathf.PI、Mathf.Infinity
 - インスタンスは作らない(newしない)
 - 「Mathf m = new Mathf();」はエラーではないが、特に 意味をなさない

Vector2 vs Mathf

Vector2

- 2次元ベクトルー般に共通 するメンバーのまとまり
 - 意味や用途が異なる2Dベクト ルが複数存在する
- 個別の2Dベクトルは個別の インスタンスとして生成・操作

```
Vector2 a = new Vector2();
Vector2 b = new Vector2();
a.x += 10.0f; // キャラAのX移動
b.y += 20.0f; // キャラBのY移動
```

Mathf

- 一般的な数学関数や定数を 表すメンバーのまとまり
 - バリエーションが存在しない
 Mathf a = new Mathf();
 Mathf b = new Mathf(); の2つが 違う数学を表す!?
- インスタンスは生成せず、「クラス名.メンバー名」で利用

例) Mathf.Sin(Mathf.PI / 3.0f);

用語のまとめ

- クラス
 - 複数のデータや関数を まとめた型
- クラスインスタンス
 - クラスを実体化した個別 のデータ
- new
 - クラスインスタンスを生 成する命令

- ・メンバー
 - クラスおよびインスタンスの構成要素
- フィールド
 - クラスもしくはインスタンスが持つメンバー変数
- ・メソッド
 - クラスもしくはインスタン スが実行できるメンバー 関数

今週のまとめ

- C#プログラミング(配列、反復、メソッド)
 - 反復と関数(メソッド)の文法はC++とほぼ同様
 - C#の配列 = 配列型クラスのインスタンス
- C#のクラスの理解
 - 用語:クラス、メンバー、フィールド、メソッド、クラスインスタンス、new
- Unity C#クラスの利用
 - Vector2 & Debug

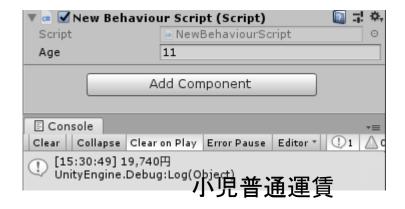
Ex11: 航空機運賃計算

前提: 今年の5月5日朝に東京から長崎まで航空機利用で帰省します。ある運航会社の大人普通運賃は39,390 円ですが、年齢によってさまざまな割引があります。まず、満3歳以上満12歳未満の小児運賃は19,740 円です。満3歳未満の幼児は無料です。また、65歳以上は15,290 円、満12歳以上満22歳未満も15,290 円です。

課題: 入力された年齢に応じて運賃を計算するC#スクリプトを作成

実行結果例



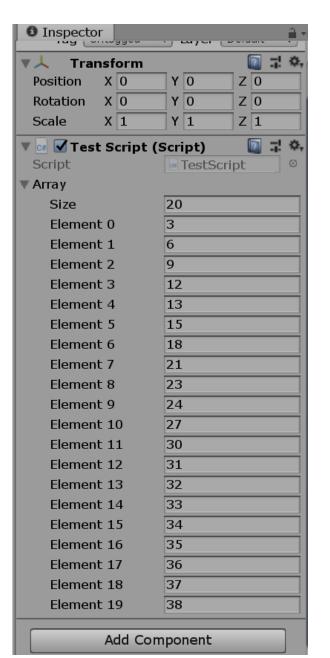






Ex21: [3]

正の整数を1、2、3、…と順番に検査し、「3」を含む、あるいは「3の倍数」である数のみを配列に追加するC#スクリプトを作成する。なお、配列の長さが20に到達した時点で走査を終了すること。



実行例

Ex21のヒント

 該当する数字が20個=最後の数字が何かは 事前にわからない → while文が適する

• 3で割り切れる数=3で割ったときの余りが0

- 3を含む数
 - 一の位が3 = 10で割ったときの余りが3
 - 十の位が3 についてはノーヒント

来週の予告

- 続・クラス
 - クラス継承
 - MonoBehaviourクラスの利用
 - 名前空間
 - アクセシビリティ